

1971年 8月7日 第三種郵便物認可（毎月6回 1の日・6の日発行）
2001年2月2日発行 SSKA増刊・通巻3777号

SSKA

ああるびい

神奈川支部会報第18号



私たち自身で
治療法の確立と
生活の質の向上を目指す



JRPS 神奈川支部

神奈川支部支援会員（順不同）

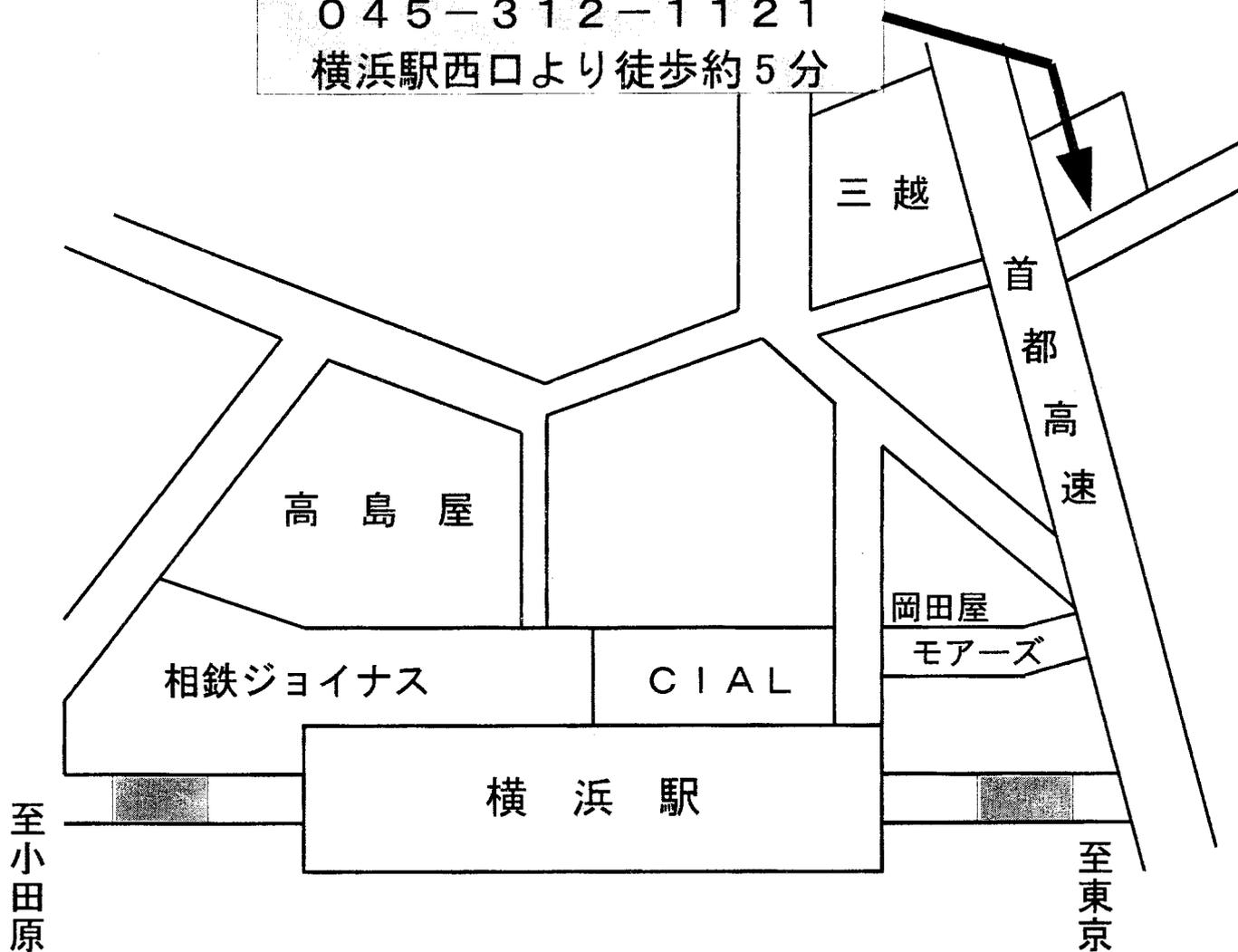
- ・（株）東栄エンジニアリング
- ・（有）結伸工業
- ・英弘精機（株）
- ・フォトプレジジョン（株）
- ・（株）ナカダ技研
- ・高木 緑様
- ・木村邦雄様
- ・細川和明様
- ・豊嶋識明様
- ・宮戸征美様

☆ご支援に心より感謝いたします☆

神奈川県民サポートセンター

045-312-1121

横浜駅西口より徒歩約5分



目 次

—J R P S 神奈川の活動—	2
●活動報告	2
【R P の P R】	2
●活動予定	2
【J R P S 神奈川支部合宿交流会のお知らせ】	3
—情報コーナー—	4
●第4回神奈川ロービジョンネットワーク研修会の お知らせ	4
●視覚障害者総合福祉機器展 アイフェスタ2001 in 埼玉開催のご案内	5
●連載 よもやま情報(14)	7
●ドラエモンのポケット	8
●IT基本法の活用で貴方もパソコン達人に!!	9
●ライトホーム1日体験入所のご案内	10
—投稿—	10
●(投稿)	10
●俺の生き様No. 3 “死ぬまで生きるんだ!!”	11

●活動報告

【R P の P R】

昨年(2001)年の11月18日(土)、19日(日)の2日間、みなとみらい横浜のパシフィコ横浜にて日本視能矯正学会が行われた。神奈川支部としては日本全国から集まる視能訓練士の方々に、J R P Sの事を知って頂く良い機会と言う事で、内田さんと二人で3階会議室ロビーの一角に席を設け、会報とかパンフレット(網膜色素変性症って何?)等を並べてP Rに努めたが、正直なところは2002年日本で開催されるR I 世界大会の運営資金作りの為作成した今年のカレンダーを販売するのが大きな目的であった。しかし会議の合間に集まった視能訓練士の皆さんは会報とかパンフレットに関心を持たれ、カレンダーには目もくれなかった。お陰で関係資料は午前中で殆ど無くなってしまい、カレンダーは僅か2部しか売れなかった。早速、釜本会長及び大窪支部長に連絡し、翌日かなりの量の資料をお持ち頂いたが、これも早々に無くなってしまった。カレンダーの方は2日目と言う事でかなり売れたので一応の目的は達したが、それ以上にJ R P Sについて宣伝出来たのではないかと思う。

尚、二日目は釜本会長、大窪部長、森口さん、ボランティアの竹川さん、東京会員1名の計7名で対応した。

宮本 久

●活動予定

2月10日(土) ミニ集会(サポートセンター 705)

3月11日(日) ミニ集会(サポートセンター 604)

5月13日(日) ミニ集会(サポートセンター 711)

時間はいずれも13時~16時です。

(4月は合宿交流会を予定しているため、ミニ集会はありません)

【J R P S 神奈川支部合宿交流会のお知らせ】

神奈川支部の皆さん、各支部の皆さんいかがお過ごしですか。J R P S 神奈川では、21世紀を迎え、新たな気持ちで頑張ろうということで、例年より遠方の温泉（日光です！）で疲れを吹き飛ばす企画を立てました。神奈川の皆さん、そして全国の会員の皆さん、日光温泉に集い、日ごろのあかを落としましょう。色変の知識を深め、また、患者相互の親睦を深め、神奈川支部の皆さんと他支部の皆さんの交流がさらに深まればと考えています。是非参加してはいかがでしょうか。

- ・日時 : 平成13年4月21日（土）～4月22日（日）
- ・場所 : 栃木県日光温泉 ホテルいろは
住所 : 栃木県日光市安川町2-51
(東照宮門前より徒歩3分)
TEL : 0288-54-1563
- ・内容 : 合宿交流会
懇親会
名所見学
- ・定員 : 約40名
- ・費用 : 宿泊費及び22日の昼食費 1万5千円
宿泊費のみ（バスを利用しない） . . . 1万円
- ・申し込み方法 :
神奈川支部 大窪 融
〒240-0016 横浜市保土ヶ谷区
TEL・FAX : 04
Eメール : ne.jp
3月20日までに、電話、FAX、Eメールのいずれかで申し込んで下さい。
- ・その他 : 現地直行の場合は申し込み時にその旨申し出て下さい。
集金は、当日バスの中で頂きます。（現地直行の方は、宿泊先で頂きます）バスは横浜市の福祉バス「あおぞら4号」を利用。残金については、2002年の世界大会の資金として本部に募金を致します。

・行程：

4月21日（土）	10：00	横浜駅天理ビル前集合
	10：10	出発
	12：00頃	サービスエリアで昼食（各自）
	16：00頃	日光温泉到着
	18：00	夕食・懇親会
4月22日（日）	8：00	朝食
	9：30	出発 名所見学
	12：00頃	昼食
	16：00頃	横浜駅天理ビル前解散

— 情報コーナー —

●第4回神奈川ロービジョンネットワーク研修会のお知らせ

横浜市立大学高野先生より、表題についてご案内がありましたので、皆様にご連絡いたします。（以下、原文のまま）

謹啓

寒冷の候、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。皆様のお陰をもちまして、去る平成12年10月14日（土）神奈川県総合医療会館にて、第3回研修会を開催することが出来ました。当日は多数の皆様の御出席を頂き盛会となりましたことを心より御礼申し上げます。さて、次回は、より実践的な知識の紹介を目標に下記の如く研修会を予定致しております。御多忙中とは存じますが、奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

謹白

神奈川ロービジョンネットワーク代表世話人 高野 雅彦

- ・日時 平成13年2月1日 17:00～20:00
- ・場所 神奈川県ライトセンター
〒241-0821 横浜市旭区二俣川1-80-2
- ・内容 17:00～ ロービジョン疑似体験セミナー (1)～(3)
18:00～ 医療福祉器械展示・施設案内・医療相談
19:00～ 講演「ロービジョンに関わる福祉制度」
- ・講師 神奈川県総合リハビリテーションセンター相談指導課長
田中 晃

1. 医療福祉器械展示・施設案内・医療相談

器械展示だけでなく、施設案内や医療相談のブースを設け、ロービジョンに関わるスタッフの情報交換の場を提供いたします。

2. ロービジョン疑似体験セミナー

アイマスクや半透明眼鏡、ピンホール眼鏡などを用いて視覚の制限を行い、これでどう見えるかだけでなく、行動にどう影響するかを体験します。運動や食事の場面も用意する予定です。

3. 講演「ロービジョンに関わる福祉制度」

神奈川県総合リハビリテーションセンター相談指導課長の田中晃氏より、ロービジョンに関わる行政的な制度全般について解説していただきます

神奈川ロービジョンネットワーク事務局
TEL: 046-249-2421 / FAX: 046-249-2411

●視覚障害者総合福祉機器展

アイフェスタ2001 in 埼玉開催のご案内

～ 不便を便利に マイ・ライフ
おもちゃもあるよ 愛もある
みんなできてね アイフェスタ! ～

福祉機器（拡大読書機・パソコン・ルーペ等）はもとより、みんなで楽しめるおもちゃやすべての人に使いやすいユニバーサルデザ

インというテーマで考案された製品も展示されます。また各種相談コーナーやメイク指導を受けられるコーナーも設置予定です。この機会を利用して、あなたの暮らしをより便利により楽しくするための情報と出会ってみませんか？

- ・日 時：3月11日（日）午前10時30分～午後3時30分
- ・場 所：大宮ソニックシティ 4階市民ホール
（JR大宮駅西口より徒歩3分）
- ・展 示：拡大読書機・パソコンソフト・ルーペ・便利グッズ
点字グッズ・ユニバーサルデザイン製品等
- ・その他：日常生活相談・医療相談・メイク指導
おもちゃ体験コーナー等を設置予定
- ・入場料：無料
- ・主 催：日本網膜色素変性症協会
- ・後 援：埼玉県 浦和市 大宮市 埼玉県眼科医会
埼玉県市長会 埼玉県町村会
社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会
社会福祉法人 浦和市社会福祉協議会
社会福祉法人 大宮市社会福祉協議会

※JR大宮駅より会場まで誘導ボランティアを配置します
〔問い合わせ先〕

日本網膜色素変性症協会埼玉展示会実行委員会
実行委員長 丸山 隆

TEL/FAX 04

事務局 秋葉 茂子

TEL 04

FAX 04

●連載 よもやま情報（14）

～パソコンのスクリーンリーダーソフトの福祉補助を活用しましょう～

森総理大臣は「IT」「IT」と騒いでいるわりに、国として、視覚障害者がパソコンを使用するのに必要な音声読み上げソフトや点字出力のピンディスプレイを購入するための補助事業がありません。しかし、神奈川県内にお住まいの方は、次のような事業が地域単独の事業としてありますので、利用してみない手はありません。

①神奈川県（横浜川崎以外）

「インターネットを視覚障害者にも活用できるように」という名目で、パソコンのスクリーンリーダーと呼ばれる画面読みをさせるためのソフトに対して6万円を限度として給付します。それを越える場合は、その部分は自己負担となります。

②横浜市

音声出力（スクリーンリーダー）または点字出力（ピンディスプレイ）の、どちらか自分が使いやすい方のものを305830円を限度として給付します。それを越える場合は、その部分は自己負担となります。

③川崎市

盲人図書館でパソコン訓練を受けた方、または今後、画面読みソフトを必要と認められた方に対して、5万円を限度として、そのソフト購入代金を補助します。ただし、5万円を超えるソフトに対してはいつさいの補助はありません。5万円以内で購入できるソフトに対してのみ給付されます。

①②③いずれの地域でも、対象者は身体障害者手帳1～2級のかたです。また、ソフトの種類は限定されていないので、自分の使いやすいソフトを選ぶことができます。もちろん所得に応じて給付額も変わります。しかし、横浜市が飛び抜けて支給額が多いというのはビックリです。まあ、他が少なすぎると言った方が正解かと思いますが。

●ドラエモンのポケット

～こんなものいいな できたらいいな～

明けましておめでとう。先号はお休みしたけど、その分素晴らしいお年玉だよ。正月3日に新聞を見てビックリした人も大勢いると思うけど・・・。（我が家は毎日新聞）なんと！新聞を見たたん、一面のトップに大見出しで、中途失明者に「光」再び「人工眼」研究に着手 通産・厚生省 電子技術使い など、文字が踊っているではないか！だが待てよ、昨年も同じような報道があったな。なにやら、アメリカのおじさんが見えるようになったとか。あのおじさん、最近サッパリ新聞にもものらないけど、風船おじさんのように消えてしまった。だまされないように用心しながら新聞を読んでいくと、ふむふむ、今までJ R P Sの医療講演会で聞いたような研究に、やっと日本政府も本格的に取り組みを始めるようだ。アメリカでは既に昨年から5年間で33億円、ドイツ政府も研究を手がける動きがあるそう。だが待てよ、アメリカでも、ドイツでもJ R P Sと同じ、R Iに加盟している協会が研究助成して研究が進んでいるって、神奈川支部の「得々講座」で聞いたことがあったよな？ その研究の正当性や成果の見とおしが立ったということだな、きっと。ウン。

J R P Sも研究助成を始めて4年、これがいずれは、アメリカやドイツのように政府を動かす力になるんだよな！

記事によると、当初4月から5年間で25億円の開発費を見こみ、参画する企業や大学を公募するとの事。光を色々な形で微弱電機信号に変換して視神経に接続して、5年後にはサルなどの動物実験を行い、7～8年後には治療法の認可申請にこぎつけたい意向だそう。新聞では、「加齢黄斑変性症」や「糖尿病網膜症」などに有効な治療法になると書かれているが、どっこい、網膜色素変性症にはもっと有効な治療法なのだ！なぜなら、私達の病気は網膜はやられても視神経はギンギンにいきっているから。

いずれにしても、アメリカ、ドイツそして日本で開発競争が始まるのだ！アメリカがんばれ！ドイツがんばれ！日本はもっとがんばれ！いつかこのコーナーでロボコップの眼のような眼が出来ればいいな！と書いたけど、本当にできちゃいそうだよ！この研究の最初

の段階は全盲の人が指数弁くらいにはなる（10年後）を目指しているようだが、科学の進歩はもっとスゴイはずだ！治療法的一端が見えてきたんだ！みんな！ それまで眼を粗末にしないで、大事に養生しようよね！1日1日を頑張って、精一杯生きれば「日は必ず昇る」のだ！

みんなもこのコーナーに夢を書いてください。声にすれば叶えられるかもヨ。

● IT基本法の活用で貴方もパソコン達人に！！

「パソコン」 使えば便利な事はわかっているけど・・・であきらめていませんか？

視覚障害者にとって、QOLの向上に大きな武器となるパソコンですが、キーボード、音声ソフトの使い方など一般のパソコン教室では教えてくれません。「IT革命」なんてよそのこと・・・ではありません。IT基本法では、障害者に対する支援が盛り込まれています。4月から各市町村が実施母体となって、費用は国が補助する制度が施行されます。制度は出来ても利用者がいなければ、行政は動きようがありません。視覚障害者がパソコンを使うなんて、行政の担当者は知らないかも知れません。貴方が自分の町の福祉課に行って（あるいは電話で）「パソコンを使いたいので視覚障害者のためのパソコン講習をやって欲しい」と要望しなければ、せっかく国が支援しようとしても、講習会はできません。視覚障害者に対するパソコンボランティアはNPOを取得したSPANをはじめ、関東地区にはかなりの数の団体が活動しています。地域行政・ボランティア団体が協力すれば、すぐにでも、講習会やパソコン教室は開催できるのです。貴方もパソコンを使って、友達とのメールのやり取りや、ホームページからの情報入手は勿論、新聞も自分で好きな記事をよみませんか？これらは全て音声で読み上げてくれるのです。さ～、福祉課（障害福祉課）に電話してみましよう。

●ライトホーム 1 日体験入所のご案内

七沢ライトホームは入所・通所により視覚障害者生活訓練サービスを提供しています。利用された方の多くは、新しい仲間や相談相手に出会い、自由な行動力が回復するなど、多くの成果を得られています。日頃、生活訓練や施設での生活に関心をお持ちの方、この機会にお誘い合わせの上、ご参加下さい。なお、平日の見学は随時受け付けています。平日来所が難しい場合は土曜相談日もありますので、気軽にお問合せ下さい。

- ・日時：平成13年3月3日（土）10時15分～15時45分
- ・場所：七沢ライトホーム（厚木市七沢516）
- ・内容：ライトホームの日課にそって生活訓練を体験します
- ・対象：15才以上の視覚障害者とその家族又は同伴者
（12組24名）
- ・参加費：無料（昼食はご用意いたします）
- ・申込み：2月28日まで電話で受け付け、定員になり次第締めきります。

七沢ライトホーム（小川） 電話：046-249-2403

— 投 稿 —

（投稿）

小田原市・タマちゃん

皆さんはじめまして、JRPSに入会しましたタマです。私はまだ見えるので等級はありませんが、よくつまずいたり、階段は見にくいので怖いです。目の不自由な人が働いていらっしゃるのすごいです。尊敬します。

私が色変とわかったのは人間ドックで、11年ぐらいたちます。それと同時に神経症、抑うつパニック障害・・・いろいろと言われ、心臓の動悸と体が揺れたり、腹痛がひどかったり、体が痛かったり、買物も人の多いところは緊張がひどくて、バスと電車に乗るのもつらくて、タクシーに乗って病院に行ったり。OLをやめてから11年ほど布団の上の生活が多かったのですが、ここ2年ほどはだいぶ

楽になってきて、知的の作業場に行って、割り箸の袋入れと旅館のタオル折りなどをやっています。ノイローゼも恐ろしいですよ。

昨年はお友達のIさんのおかげで小田原から横浜のサポートセンターとライトセンターにもIさんに付き添ってもらって行けました。中村事務局長さんに「私はボランティアをします」と言いましたが、良く考えるとパニック障害で行動範囲が狭いことと、体力がありません。しかし、とりえは、離婚と娘と会えない経験をしています。17年間のOL生活で、いつも楽しく明るい友達に囲まれていたため、私も明るい気持ちを人に上げられるということです。

12月6日、保健福祉事務所の生活指導教室（精神課関係）ボランティア講座の受講生のレクレーション交流会があって、小田原市鴨の宮のマロニエという所に行きました。レクレーションは目の悪い私にとって、人とぶつかるのではないかと不安でしたが、看護学生さんが私に一人ついてくれたのでありがたかったです。

10月18日、福祉バスに乗っての生活指導教室で10年ぶりに東京（葛西臨海水族園）へ行きました。中は暗かったのですが、保健婦さんが腕くみしてくれたので、電気のついている明るい所のきれいな魚が見れて感激しました。

私は音楽も好きで唱歌が特にいいです。CDも南沙識、天地真理、小柳ルミ子、キャンディーズ、世界の民謡、カーペンターズ、ザ・タイガーズ、映画音楽などいっぱい聴いています。本は、マザー・テレサ、黒柳徹子さんの「窓ぎわのトットちゃん」、瀬戸内寂聴さんなどよみました。

人生、自分も他の人も励みになれることを語り合うことかと思えます。

●俺の生き様No.3 “死ぬまで生きるんだ！！”

横浜市 座頭市

昨年は「心は健常者、体は障害者」の狭間で苦しんだ。周囲の目に加え、「サラリーマンとして伸びる芽はなくなる」ことへの拘り、大袈裟に言えば「今後どう生きるか」の問いに答える苦しみであった。職場では、グループホーン（電話器）やワープロの操作に時間がかかるようになった。社内伝票などは代筆で済ませていた。鍋料

理や焼肉は苦手、ビールや酒が注げないから酒宴から遠ざかってしまった。自主自立の人生街道の信号機が青～黄色の点滅～赤の点滅～赤となり、自ら健常者ロードから障害者ロードにターンしたのは昨年後半であった。

会社へのカミングアウト以後、体調を崩し1カ月余りの入院、職場復帰したが役割はスタッフ的となり面白い仕事から遠ざかった。寂しくなった。「なるようにしかならない」ことは分かっている。「眼が悪くなかったら」と思うと自己の周囲への気配りにも腹が立ってくる。職場での自主自立のため拡大読書器、音声対応パソコン、スキャナーの無料リースの活用を上司に提案した。上司は片袖机上に納まるならと了解した。幸い庶務担も兼ねていたので上位庶務部門に無料リースについて説明、申請書の記入案も付し申請を依頼した。事前に自ら無料リース窓口「中央障害者雇用情報センター」に電話していたこともあり、申請後、2週間で設置となった。事前に職場チーム会で設置について説明、前席の人には「棚で視界が悪くなるが・・・」と了解を求めた。棚とイヤホンは社費で購入した。棚は機器設置の前日、チームメートが組み立て机上に設置してくれた。(嬉しかった)棚中に電話器と各種書類、棚上にスキャナーを置き、据え置き型読書器は机上左隅に置くことができた。機器の使用説明は設置時にリース業者が行い、即日、社内LANの組込もチームメートにより行われた。前席の人の顔は棚と読書器の隙間にかろうじて見える程度となった。リース品には「障害者雇用支援機器」のシールが貼ってある。何が映るんですか?などと聞く人もいた。「本人が気にする程他人は思っていない」かもしれないが、飲んだ席などで話題になったと思う。

リース期間は半年(延長で1年)である。また、会社で機器設置する場合、経費の助成制度がある。上司は夜盲症に配慮し「勤務時間の1時間シフト」を指示してきた。冬場は効果ないと思いつつも朝星、夜星の通勤となった。

白状を買った。帰宅途上、人混みではぶつかることもしばし、揖斐突かなく見えるのか、若い女性から声をかけられることが多くなった。「ありがとうございます。大丈夫です。」と明るく答えている。顔が分からないのが残念!でも通いつけてない道なら勿論「お願いします。」です。

眼が悪くなると今までできていたことが1つまた1つとできなくなる。悲しくなる。視覚障害者は情報障害者だと言われる。少しでも失ったものを取り戻したい。日常生活用具を申請した。音声腕時計が欲しかった。「手は正常なので触読式となる」であったので差額を払い音声腕時計を購入した。「時報」モードで時間を気にせず生活できるようになった。新聞が読めなくなっていた。盲人用カセットレコーダーも申請で入手し、点字図書館のテープを利用している。ピポパロットも申請し入手したが活用はこれからだ。CD読書器は自費で購入した。

職場も自宅も音声対応パソコンとなったがズームテキスト、95リーダー、ヨメールなど習熟はこれからである。「厄介者」と陰口されているかもしれないが前向き全開の行動だけはアピールしていきたい。50も半ばの生身の人間、いつ体調を崩し「弱気の虫」に取り付かれ精神的蟻地獄に陥るかもしれない。最近、障害を受容する気分にもなってきた。遠ざかっていた社内ノミネーションも人間関係を考え、少々面倒をかけても参加する気持ちになってきた。今年健康が許す限り、人間関係を含め今まで失ったものを1つでも多く取り戻す「リベンジ」の年としたい。また、2～3年後には昼間も白状のお世話になっているだろう。見えている間に何を為すべきかも考えたい。尚、「今後どう生きるか」の俺の答えは「健常者の過去を忘れさり、芯の強い障害者として生きる。」である。

(追伸)

昇格昇給が望めないなか、生活の足しになるかとも思い、厚生年金の障害年金を12月にどうにか申請しました。(来月の審査結果が待ち遠しいです。)

このあいだ、「2時間でマスター快適パソコンキーボード」をテープで聴きました。1日も早くブラインドタッチとなれますように・・・

最後に、今回は理屈っぽくなってしまいました。ご免なさい。

(今号は、佐々木さんの「理療科(盲学校)奮戦記」はお休みです。次回に期待しましょう！)

—◇編集後記◇—

最近、ピッキングが社会問題化しているようです。我が家も頑丈な鍵に替えました。これには伏線があって、年始に近所の丸井で買い物をしていた時にスリに遭ったからです。食料品売り場で卵の品定めに夢中になっていたスキに、ベビーカーに引っ掛けてあったカバンを盗まれてしまったのです。カバンの中には沢山の貴重品が入っており、娘の大事なお年玉も入っていました。畜生！そんな大事な物を肌身離さず持っていなかった私が悪いと言われてしまえばそれまでですが、それにしても・・・ジャパンも住みにくくなったものです。というわけでいついかなる時も油断してはならぬと、冒頭の対策に出たわけです。世の中にはJRPSの皆さんみたいにいい人ばかりじゃないんだということを身にしみて感じました。

編集部では皆さんの投稿をお待ちしています。

発行人：身体障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砧6-26-21

編集：JRPS神奈川支部会報編集部
阿部直之

〒213-0012

神奈川県川崎市高津区坂戸 2-7-9-502

E-mail Arnold@dp.u-netsurf.ne.jp

定価 200円